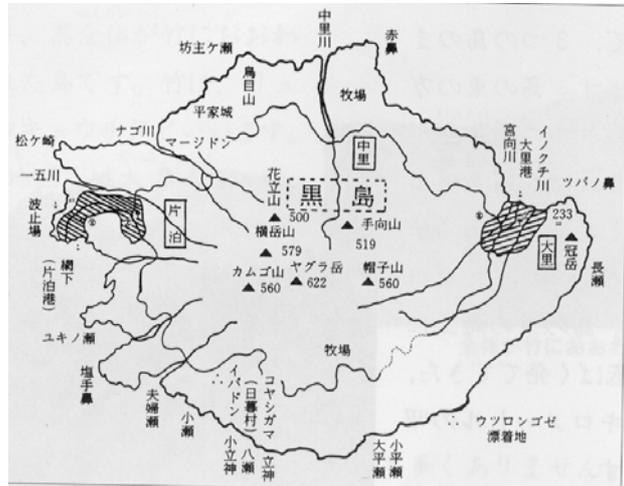


(4) 黒島のようにす

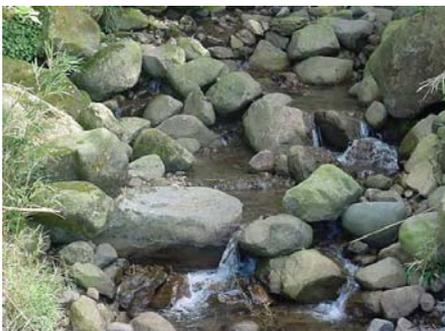
黒島は、島全体に木がたくさん生えていて黒く見えるので「黒島」と名づけられたと言われています。三つの島の中で一番大きく、島のまわりがおよそ15キロメートルあります。島のまん中には622メートルの高さの^{やぐらだけ}櫓岳のほか、500メートルより高い山が6つもあります。たいらな所が少ないのもこの島のとくちょうです。



黒島の地図

黒島には、ほかのところではあまり見ることのできないめずらしい植物がたくさんあります。また、ヤツガシラやカラスバトなど、いろいろな野鳥をかんさつすることもできます。動物ではイタチがいます。イタチは、ねずみをたいじするために、島にはなしがいにしたのがふえたのです。

黒島には川がたくさんあります。小川まで入れると千ぐらいの川が



黒島の中里川

あると言われます。黒島の川の水は、いつも流れているので、水道の水として用いられています。ほかにも、まき場では牛の水のみ場にり用されるなど、人々のくらしに大へんやくだっています。